



大里っ子チャレンジ通信

No.18 2017年11月09日(木)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

石けんアートにチャレンジ



校

内音楽会前日の11月9日(木)、第18回大里っ子チャレンジスクールを実施しました。今回の後半の活動は、「石けんアート(デコパージュ)」

でした。いろいろな絵柄のナプキンペーパーを切り抜き、石けんに貼っていくというものです。講師の「浅井路生」先生が用意してくださったたくさんのペーパーの中から自分の気に入った絵を探して、ある児童はその形のまま、ある児童は絵と絵を組み合わせる小さな石けんの上にデザインしていました。右上の写真はクリスマスを意識して作ったものようですね。



児童の皆さんに配られた石けんは一人3個。三つとも同じテーマの絵を選んでいる児童、それぞれ別々のテーマの絵を選んでいる児童など、個性が出ていましたが、みんなとても上手にデザインしていました。

講師の「浅井路生」先生。ニコニコ笑顔でご指導してくださいました。

お手伝いのお母さん方が材料のペーパーを切り分けてくださっています。

絵

柄を選び、切り抜いてデザインができれば、次は、絵を石けんに貼っていきます。

接着糊の容器や筆の本数は少ししかなかったため、グループごとに交代で使っていましたが、一人3個の石けんに一度に塗ってから次の人に筆をまわすというのではなく、一つやったら次の人、というようにとても仲良くゆずり合っていました。(感心、感心!) こういう光景は、ほんとうに児童の皆さんが可愛く見えますね。



どんなデザインにしようかな～。



石けんに糊を塗っています。仲良く交替で作業できていましたね。

石

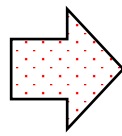
けんに絵を貼ったらそれが乾くまで待ちました。ほんとうは全部で3回塗るそうですが、今回は時間がなくて重ね塗り1回だけでした。

ノリが乾くのを待つ間に、今度はリボンが配られました。でき上がった石けんデコパージュを入れるセロハンの袋の口をしぼるためです。でも、ただリボンを使うのではなく、しぼった後もきれいに見えるようにするため、はさみを利用してパーマがかかってカールした長い髪のようにクルクルとした癖をつけていきました。なかなか上手い出来ない人もいましたが、5年生のKR君はとても上手に作っていました。(裏面に続く。)

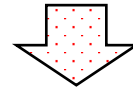




写真のようにはさみの腹と親指にリボンを挟んでごくと・・・



写真のようにクルクルとパーマのかかった髪のようなカールした形になりました。赤、緑、青のリボンが配られました。青いのが大人気でした。



こちらの写真は、まだ袋が完成していない女子のみなさんの作品です。

あれれ・・・5年生のTRさんが自分の作品だってわかるように指さしていますよ。

ボランティアの坂本先生の作品です。左のねこのしっぽがネギになって、右の黄色のパプリカにはねこのしっぽが生えていますね。不思議なデザインですね。



カールしたリボンで袋の口を結んでできあがり。男子のみなさんの作品です。

どれもすばらしいできばえですね。

お手伝いのお母さん方もいっぱい手助けしてくださいました。感謝の気持ちも忘れないようにしましょうね。ありがとうって。



アンケートへの協力をお願い!

さ いたま市全市のチャレンジスクールを統括している「教育支援協会 南関東」から、チャレンジスクールに関するアンケートへの協力依頼がありました。

例年実施されているものですが、昨年度は「マークシート」方式になりました。児童の皆さんにはチャレンジスクール当日に協力してもらいますが、保護者の皆様には近日中にアンケートのマークシートを児童の皆さんを通じてお渡ししますのでご協力の程よろしくお願ひします。

なお、今年度は、児童の皆さん以外のアンケートについては、スマホやパソコンからも直接回答できるようになりましたので、マークシートがお手元に届きましたら、マークシートの説明を読んで、ネット上、あるいはマークシートで回答くださるようお願ひします。



講師の浅井先生の作品です。ウェットティッシュのケースや紙の箱でもデコパージュができます。いつかこんな作品も作ってみたいですね。

◎次回（第19回）のチャレンジスクールは、**11月18日（土）**です。

◎前半はブックランドで、後半はハッピールームです。

◎前半は、いつもどおり「自主学習」です。

◎後半は、「囲碁②」にチャレンジします。

◎プロ棋士の先生が来てくださいます。

※第20回は、11月25日（土）です。

浅倉先生のご指導で工作をします。（内容未定）

今号のタイトルイラストは、「椿（ツバキ）」。名前の由来は、葉が丈夫なことから「強葉木（つばき）」や、艶のある葉から「艶葉木（つやはき）」が変化したとの諸説がある。色によって花言葉は違うが、全般には「控えめな優しさ」「誇り」。いつでも誇りを持って生きたいものですね。